



認定看護師たより



秋になり肌寒くなってきましたがどうお過ごしでしょうか。

摂食嚥下障害看護認定看護師 川野 陽子

皆さんはこのようなお困り事はありませんか？



「錠剤はのめない」
「のどに張り付く」
「詰まる感じがする」



錠剤は飲みにくいので、潰したり、カプセルを外したりをして頑張って服用していらっしゃると思います。

ちょっと待つて欲しい。

飲めない、または、飲みにくいことを医師や薬剤師に相談していますか？

薬は飲めばいいだけではないのです。

皆さんへ処方された大切な薬は、

錠剤やカプセルの形ではないと効果を十分に発揮できないものもあるのです。

錠剤が服用できない・・・もしかすると「錠剤服用障害」かもしれません。

錠剤嚥下障害

薬を飲み込む事が難しくなり、本来飲み込んで胃腸に運ばれる薬が、口やのど、食道に留まってしまう事で薬の効き目に影響を与えたり、錠剤が留まった部分に粘膜損傷や潰瘍が発生したりする障害です。

是非、医師や薬剤師にご相談下さい。

皆さんが服用している薬剤が正しく服用されることが病気との付き合い方にもなります。



当院の救急救命士の活動

救急看護認定看護師 東海林 美貴

当院には7名の救急救命士が在籍しています。
どのような場所でどのような業務を行っているかご存知ですか？

救急救命士とは？

生命の危険にさらされた傷病者が病院に搬送されるまでの間、**または医療機関において、傷病者が入院するまでの間に**救急救命処置などを行います。



当院では**主に救急センター**が活動の場となります。
※現在は**ブルーのユニフォーム**

院内救命士の活動内容

- 救急センターを受診する傷病者のバイタルサイン測定や観察、処置介助など
- 院内トリアージの実施
- BLS や ICLS などの蘇生教育
- 救急センターに搬送された心停止患者様への蘇生処置
- RRT (予期せぬ心停止回避)メンバーとなり要請症例対応

このように、救急チーム医療の一員として医師・看護師やその他多職種と協働し活躍しています。今後も院内救命士と共に当院での救急患者対応の質向上に貢献に共に取り組んでいきます。